

平成30年（2018）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、84万9,300人
対前年（H29）同月比 +5万人、+6.3%
～10月の過去最高を更新～

入域状況

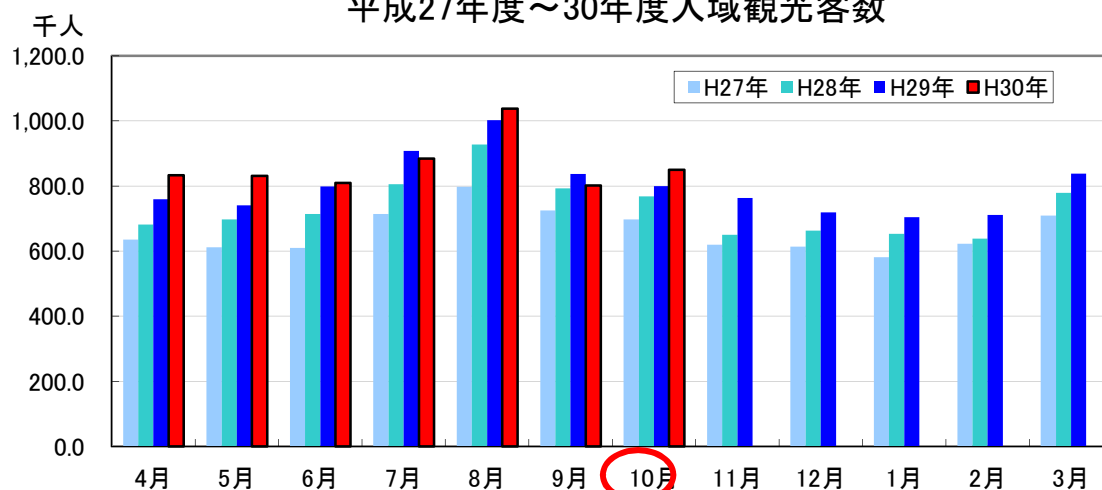
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	71.0%
外国客	246,500 人	229,200 人	+ 17,300人	+ 7.5%	29.0%
合計	849,300 人	799,300 人	+ 50,000人	+ 6.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	73.7%
外国客	215,100 人	200,500 人	+ 14,600人	+ 7.3%	26.3%
合計	817,900 人	770,600 人	+ 47,300人	+ 6.1%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったこと等から、前年を上回った。

11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、おきなわ技能五輪・アビリンピックの開催があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月より航空路線の拡充があったことや大型クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

11月は、冬場に入りクルーズ船は落ち着くものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	304,700 人	287,100 人	+ 17,600人	+ 6.1%	50.5%
関西方面	113,800 人	108,300 人	+ 5,500人	+ 5.1%	18.9%
福岡方面	76,200 人	72,200 人	+ 4,000人	+ 5.5%	12.6%
名古屋	50,500 人	46,500 人	+ 4,000人	+ 8.6%	8.4%
その他	57,600 人	56,000 人	+ 1,600人	+ 2.9%	9.6%
合計	602,800 人	570,100 人	+ 32,700人	+ 5.7%	100.0%

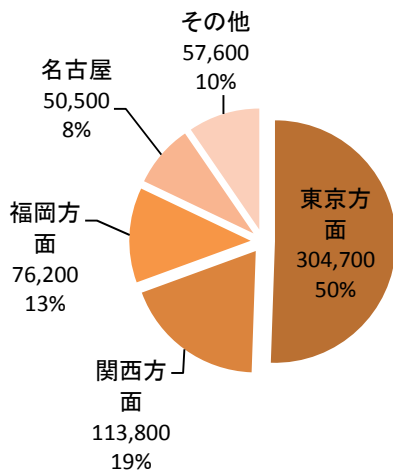
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島1,700人、横浜1,100人)

外国客 国籍別入域状況

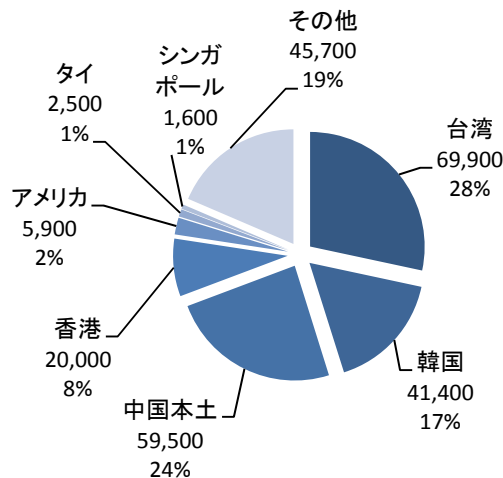
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	69,900 人	69,900 人	77,400 人	△ 7,500人	△9.7%	28.4%
韓国	41,400 人	41,400 人	41,300 人	+ 100人	+0.2%	16.8%
中国本土	59,500 人	59,500 人	45,400 人	+ 14,100人	+31.1%	24.1%
香港	20,000 人	20,000 人	22,200 人	△ 2,200人	△9.9%	8.1%
アメリカ	5,900 人	5,900 人	2,000 人	+ 3,900人	+195.0%	2.4%
タイ	2,500 人	2,500 人	3,500 人	△ 1,000人	△28.6%	1.0%
シンガポール	1,600 人	1,600 人	800 人	+ 800人	+100.0%	0.6%
その他	45,700 人	14,300 人	36,600 人	+ 9,100人	+24.9%	18.5%
合計	246,500 人	215,100 人	229,200 人	+ 17,300人	+7.5%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	59,900 人	59,900 人	+12.6%	39.9%	10,000 人	10,000 人	△58.7%	10.4%
韓国	41,300 人	41,300 人	+0.2%	27.5%	100 人	100 人	+0.0%	0.1%
中国本土	21,300 人	21,300 人	+10.4%	14.2%	38,200 人	38,200 人	+46.4%	39.6%
香港	16,400 人	16,400 人	△3.0%	10.9%	3,600 人	3,600 人	△32.1%	3.7%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+6.3%	1.1%	4,200 人	4,200 人	+950.0%	4.4%
タイ	2,400 人	2,400 人	△27.3%	1.6%	100 人	100 人	△50.0%	0.1%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	+133.3%	0.9%	200 人	200 人	+0.0%	0.2%
その他	5,600 人	5,600 人	+12.0%	3.7%	40,100 人	8,700 人	+26.9%	41.6%
合計	150,000 人	150,000 人	+6.3%	100.0%	96,500 人	65,100 人	+9.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好であったこと等から、前年を上回った。

11月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の離島直行便が良好だったことや、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していたこと等から、前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券の販売が良好であることや、引き続き、一般団体旅行や修学旅行の受注が安定していること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の提供座席数の増加や、離島直行便が良好だったこと等から、前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが安定していることや、インセンティブ旅行等の団体旅行の需要の高まりがあること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

10月は、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の提供座席数の増加や団体旅行の販売が良好であったこと等から前年を上回った。

11月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや団体旅行の販売が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

台湾

10月は、前年同月と比べ航空路線が拡充したものの、台風による航空路線の欠航やクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

11月は、MICE開催シーズンに入り団体旅行の需要の高まりがみられることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等により、堅調に推移する見込み。

韓国

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

11月は、温暖な気候をテーマとした旅行需要の高まりがみられることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

10月は、台風の影響が懸念されたものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

11月は、インセンティブ旅行の需要の高まりがみられることや、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

10月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、台風の影響による航空路線の欠航や前年同月に比べクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から前年を下回った。

11月は、香港発のクルーズ船の寄港が予定されていないものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。